

手元止水シャワーヘッド、注意が必要です！

止水ボタン付きシャワーヘッドってとっても便利ですよ。
持ったまま手元のボタンでワンタッチ操作ができるため節水にもつながります。

でも止水ボタンだけでシャワーの水を止めてお風呂を出るのは、実はとても危険です。
なぜなら本来は元のレバーで止めるべき水圧を、細いシャワーヘッドの小さなボタンだけで止めている状態なので、ヘッドにもホースにも水圧がかかり続けているのです。長時間そのままにしていると、最悪の場合は水圧に耐え切れず、ヘッドやホースの破裂の恐れがあります。

止水ボタンを使用するのは、基本的には入浴中のみにしましょう。

止める順番も大切です。ヘッドの止水ボタンを押したあとに元栓のレバーで止めると、ホース内に水圧がかかったままになってしまいます。

最後はホースのお湯を出きるために、止水ボタンは使わずにレバーで止めるように心がけましょう。



メリット

- ・手元スイッチでラクに止められるので赤ちゃんの沐浴、介護をしているご家庭、ペットのいるご家庭 にはとても便利
- ・こまめに止めることで節水につながる

デメリット

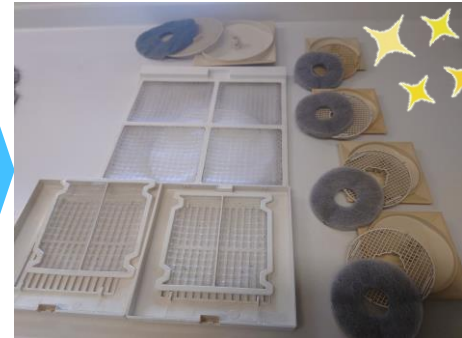
- ・止水ボタンを長時間使用するとホース内に水圧がかかり続けるため破損の恐れがある
- ・逆止弁のない混合水栓の場合は止水スイッチは使えないので確認が必要

今月のビフォーアフター

住宅の換気をスムーズに行うために、換気口や給気口は欠かせませんが、外気を室内に取り入れる部分なので時間が経過すると汚れが付着します。スムーズかつ正常に換気するためには、常に清潔な状態にしておくことが大切です。フィルターが目詰まりすると、機能が低下するだけでなく、家具や日用品が原因で発生するシックハウス症候群に繋がるおそれもあります。年に2~3回は取り外してフィルターのお掃除をすることをおすすめします。取り外し方はメーカーによって違いますので、取り扱い説明書に従って行いましょう。フィルターは、中性洗剤でやさしく洗うと、排気ガスの汚れやホコリがスッキリきれいに落とせます。フィルターの素材によっては掃除機で吸い取るだけでもきれいになるタイプのももあります。慣れると簡単にお掃除できるようになりますので、是非お試しください。



before



after

お掃除コラム 浴室のいすの頑固な汚れ対策

浴室のイスは気が付くと落としにくい汚れがたまってしまいますね。イスの汚れは主に「水あか」「石鹼カス」「皮脂汚れ」です。この3つの汚れを放置すると、こびりついた頑固な汚れに変わってしまいます。水あかと石鹼カスはアルカリ性の汚れ、皮脂汚れは酸性の汚れと違った性質を持つため、汚れがこびりついてしまうと、中性が多い浴槽用洗剤1つではなかなか落ちません。クエン酸や酸性の洗剤をプラスする必要があります。洗剤をスプレーしてしばらく置いてスポンジでこすって落とすか、このようなヘラを使って削り落とすのもおすすめです。

頑固な汚れをためない対策は、使用後にお湯でぬめりをサッと洗い流し、水分を拭き取って乾燥させるのが一番！
毎日の1分程度の手間でキレイを維持しましょう！



コツ
洗剤をかけた後、しばらく放置。スポンジで無理ならヘラで削り落とす！

簡単♪甘〜い

キャベツの蒸し焼き

- ①キャベツは4等分〜8等分に切る
- ②フライパンにオリーブオイルを入れてキャベツに焼き色を付ける
- ③両面に焼き色が付いたら、水または酒大さじ1を入れて、フタをして蒸し焼きにする
- ④芯まで柔らかくなったら塩を振って出来上がり！



粉チーズや
溶けるチーズを
のせても美味しい